



ほっとほっとタイムズー第5号ー

2025.2.28

井荻小学校 特別支援教育校内委員

寒かった日々も過ぎ日差しに春を感じるころになりました。間もなく3月、学校も年度末を迎えます。さあ、皆様のお子様たち、この1年、どんな成長を遂げられたでしょうか。先日の公開授業の後の感想メールに「1年間の成長に目を見張るものがあります」と書いてくださった方がいました。確かに入学したばかりの1年生を思い起こすと成長の様子に驚くばかりです。(6年生を送る会でも、みんなで元気いっぱいの声を響かせてくれました。)

では、「成長する」ってどういうことだと思われますか?「自分のことは自分でできるようになる(自立)」ということでしょうか。実は、本当の自立ってとても奥が深い。「食べる」一つとっても「箸やスプーンを使って自分で食べる」ならできるけれども「栄養を考えて食べる」とか「自分の食べるものを自分で用意する」となるとこれはまた大変です。つまり「自立」って一生かけて行うものだなと痛感します。

それでは、小学生の間に身に付ける力って何でしょう。

最近気になるのが、子どもたちがトラブルにぶつかった時、自分で解決しようとして、すぐ大人を頼ることが多いということです。「先生、〇〇が〇〇しています」。「先生、〇〇されました」。「〇〇ということがあったので、親に相談したら、先生に言えと言われました」。おうちの人も困りますよね、学校で起きたことを親に相談されても、様子がわかりませんものね。教師のほうも、悩みを打ち明けられると「自分が何とかしてあげなければ」と思ってしまうこともあります。しかし、ある先生が、「自分が頑張らなければと思ってしまうけれど、それでは子どもたちが分かり合えた喜びも自分で解決できた自信も育たないですよね」とおっしゃっているのを聞いて、なるほどそうだなと思いました。子どもが「困らない事」も大事だけれど、それ以上に「分かり合えた時の嬉しさ」「自分でやり切った自信」を育てることの方がずっとずっと大切ですよね。だって、これから先の長い人生、トラブルに合わない保証など何もないのですから。そのために、大人は何ができるのでしょうか。

子どもが自分でできないことができるようになるためには、時間をかけてその子に寄り添い励まし続けるしかありません。片付けが苦手な子には、そばにいて片付けの仕方を教え、できたらどんな小さいステップでもがんばったことを認め、やる気を育てることを続けるしかありません。とっても時間のかかる作業ですが、それを続けない限り、苦手を克服することはできないのだと思います。そして、「できないことができるようになる」ことで自信は育つのです。片付けが得意になれば、知識を整理することも得意になります。相手のことを考えられるようになれば、先を予想して考える力も伸びます。生活力と学力はリンクすると思っています。

6年生は間もなく中学です。子どもたちはあっという間に大きくなっています。そして、大きくなればなるほど子どもたちの生活は大人から見えなくなります。また、最近のニュースを見ていると、一人一人がきちんと正しい判断をして行動する力が育っていないと、一生を台無しにしてしまうことだってあり得る世の中です。今、わが子にどんな力を育てる必要があるのか、この機会に考えてみませんか。

※ 3月4日、低学年の保護者会の後、第2回おしゃべりタイムを設定します。少しだけでも井戸端会議を楽しみませんか?

ほっとほっとティータイム(おしゃべり会)

3月3日(火)午後4:00~5:00
(早めに来てくださいてもOK!) 場所:特活室